

## 肩関節拘縮に対する保存療法の治療成績に関する研究

### 1. 研究の対象

2017年6月から2022年9月までに当院で肩関節拘縮に対しての治療を受けた方

### 2. 研究目的・方法

肩関節拘縮に対してはリハビリテーション、非観血的授動術などの保存療法を行っている。その治療効果を観察し、リハビリテーションのみで症状が改善した患者、リハビリテーションの効果が乏しく、非観血的授動術を施行した患者の背景因子を特定し、治療方針決定の基準を明確にする。研究実施機関は倫理委員会承認日から2023年7月31日までに なります。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録からの診療情報：病歴、患者背景、身体所見、臨床スコア

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出 ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

088-866-5811

高知大学医学部附属病院整形外科学講座 森本暢

研究責任者：

高知大学医学部附属病院整形外科学講座 泉仁

-----以上